

1. 科目名 (単位数)	現代社会と社会教育 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3445
2. 授業担当教員	栗山 究		SCMP3445
4. 授業形態	講義と討議、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	本科目は、文部科学省令で定められた大学における社会教育主事資格課程の必修科目の一つ (令和元年度までの旧課程の受講生を対象) であり、他の社会教育主事資格課程科目の基礎編に位置づけられる。受講に際しては「生涯学習概論」を修得済であることが望ましい。		
7. 講義概要	現代社会は変化の激しい時代である。国内だけでなく国際社会の変動が人々の生活や価値観に大きな影響を与えている。そのため、今までになかった新たな課題が生じている。このような現状において、社会教育は「人々の多様な学習要望を踏まえた生涯学習の振興」に努めるとともに、「地域の活性化や家庭教育力の向上」等の社会の要請に適切かつ迅速に対応する支援の遂行が求められている。そこで、本科目では社会教育についての理解を深めるとともに、身近にある様々な現代的課題解決のための具体的な支援方策について、事例研究やグループ討議を通して追究し、個別事業計画を立案する。		
8. 学習目標	次の目標を達成することを目的とする。 ①現代社会が抱える様々な課題、地域特有の課題の背景や特徴を理解することができるようになる。 ②社会教育とは何かを理解するとともに、現代社会の課題解決に向けた社会教育の役割について理解することができるようになる。 ③社会教育の当面する課題と課題解決に向けた諸施策について理解し、説明できるようになる。 ④社会教育の推進者の役割や社会教育施設の現状と目的について理解することができるようになる。 ⑤身近な現代的課題に対応した具体的方策 (個別事業計画) を立案することができるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	本授業では、①演習課題、②現代的課題の学習講座の企画書、③期末レポート、以上3点の作成・報告と提出が課題となる。授業展開の建付けをしっかりと理解し、各種課題には計画的に取り組んでほしい。 ①は、受講者各自の関心に即して新聞記事・文献・実践記録を収集し、整理する時間が必要となる。①の学習の成果を受けての②③は、クラス内での話しあい学習の内容を把握し、理解することが求められる。授業内容や討議・演習で気づいたことを自分なりにふりかえる時間を自覚的につくり、配布資料は各自でファイルなどを用意してまとめておき、予習と復習に活かしてほしい。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 各回の授業内において適宜紹介していく。 【参考書】 『月刊社会教育』 国土社、1957年～毎月刊行。 岩崎正吾編『多文化・多民族共生時代の世界の生涯学習』 学文社、2018年。 社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック第9版』 エイデル研究所、2017年。 【教材】 プリント資料・コメントペーパー (各回授業テーマに応じて、担当教員が作成・編集した資料を配布する)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 社会教育に関する目標・内容・方法について理解し、具体的に説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 現代的課題をふまえた社会教育のあり方について理解した上で、適切なテーマを設定し、学習講座等を企画できる力を身につけたか。(思考力・判断力・表現力) ○評定の方法 【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】 1. 授業への取り組み姿勢 総合点の30% 2. 授業内での課題提出 (小テスト・課題レポート・企画書作成等) 総合点の40% 3. 期末レポート 総合点の30%		
12. 受講生へのメッセージ	(1) 本授業は、主として演習形式で展開するので、授業内容の理解は、毎回の授業 (演習) に連続して出席することで深まります。正当な理由なしの欠席や遅刻は控え、主体的・積極的に授業に臨んでください。 (2) 授業内の相互学習を踏まえ、可能な限り自らの問題意識や興味関心に即して、自分たちの「まちの課題」に向きあっている多様な「学び」の現場 (社会教育実践の現場) に足を運び、住民や住民の学びを支える人たちとともに学習を深めていく機会をつくってみてください。受講者相互の問題意識や興味関心の程度に応じて、そうした現場を紹介していく機会も適時、設けていきたいと考えています。自分なりに学んだ内容をふりかえり、その内容を探究していこうとする姿勢や行動は積極的に評価し、応援します。		
13. オフィスアワー	個別での質問や相談等は、各回授業終了後の時間に対応する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス (授業の進め方の説明)、自己紹介、社会教育主事とは (資格・仕事・人事・現状)	事前学習	社教主事資格課程を受講しようと思う理由をまとめ、この授業へ望むことを整理する。
		事後学習	社会教育主事・社会教育職員とは何かを理解する。
第2回	〔第1部〕「持続可能な社会づくりのための教育」実践から考える「まちの課題」	事前学習	配布資料を読み「持続可能な社会づくりのための教育」とは何かを考えて授業に臨む。
		事後学習	演習課題を提示する。期日までに計画的に準備し、仕上げてくる。
第3回	〔第1部〕生涯学習概論で学んだ基本用語の確認／ノンフォーマル教育の可能性	事前学習	事前に提示する生涯学習概論で学んだ基本用語を確認してくる。
		事後学習	配布資料を読み「まちの課題」に取り組む多様な「学び場」と、そこでの実践を見つめなおす。

第4回	〔第1部〕地域社会に根ざした社会教育の実践事例①／多文化共生社会をめざす教育実践	事前学習	事前に提示する「生涯学習概論で学んだ基本用語」を確認してくる。
		事後学習	配布資料を読み、「まちの課題」に取り組む多様な「学び場」とそこでの実践を見つめなおす。
第5回	〔第1部〕地域社会に根ざした社会教育の実践事例②／子を育てる親たちの地域での学びあい	事前学習	事前に提示する生涯学習概論で学んだ基本用語を確認してくる。
		事後学習	配布資料を読み「まちの課題」に取り組む多様な「学び場」とそこでの実践を見つめなおす。
第6回	〔第2部〕現代社会のさまざまな学習課題と学び場① 受講者からの調査報告会（例）子ども・青少年・若者の学びと社会教育の役割	事前学習	各自の関心に即して新聞記事・文献・実践記録等を収集し、持ち寄る。
		事後学習	必要課題や要求課題など報告会で話し合われた内容をふり返る。
第7回	〔第2部〕現代社会のさまざまな学習課題と学び場② 受講者からの調査報告会（例）若者・青年・成人・高齢者の学びと社会教育の役割	事前学習	各自の関心に即して新聞記事・文献・実践記録等を収集し、持ち寄る。
		事後学習	必要課題や要求課題など報告会で話し合われた内容をふり返る。
第8回	〔第2部〕現代社会のさまざまな学習課題と学び場③ 受講者からの調査報告会（例）障がいのある人たちや在住外国人とともにある学びあい	事前学習	各自の関心に即して新聞記事・文献・実践記録を収集し、持ち寄る。
		事後学習	必要課題や要求課題など報告会で話し合われた内容をふり返る。
第9回	〔第2部〕現代社会のさまざまな学習課題と学び場④ 受講者からの調査報告会（例）人権・平和学習と地域社会での学びあい	事前学習	各自の関心に即して新聞記事・文献・実践記録を収集し、持ち寄る。
		事後学習	必要課題や要求課題など報告会で話し合われた内容をふり返る。
第10回	〔第2部〕現代社会のさまざまな学習課題と学び場⑤ 受講者からの調査報告会（例）環境問題と地域社会での学びあい	事前学習	各自の関心に即して新聞記事・文献・実践記録を収集し、持ち寄る。
		事後学習	必要課題や要求課題など報告会で話し合われた内容をふり返る。
第11回	〔第3部〕現代的課題の学習講座の企画・立案①各自の調査報告内容をテーマにした講座企画づくり（準備会）	事前学習	各自の報告内容に際して話し合われた内容をふりかえり、論点を整理してくる。
		事後学習	現代的課題の学習とは何か、社会教育事業にする際の特徴を含め、説明できるようにする。
第12回	〔第3部・特別講義〕現代的課題の学習講座への参画体験 ※実施時期は前後しますが、実施可能の場合は学外授業とする可能性があります	事前学習	事前にチラシ等を読み、会場となる「まちの学び場」の概要や当日の講座内容を確認する。
		事後学習	実際の講座に参加して、学習者との学習内容や、学習者と意見交換した内容をふりかえる。
第13回	〔第3部〕現代的課題の学習講座の企画・立案②各自の調査報告内容をテーマにした講座企画づくり（報告会）	事前学習	現代的課題の学習講座の企画書を作成してくる。
		事後学習	現代的課題の学習とは何か、社会教育事業にする際の特徴を含め、説明できるようにする。
第14回	〔第3部〕現代的課題の学習講座の企画・立案③各自の調査報告内容をテーマにした講座企画づくり（ふりかえりの会）	事前学習	現代的課題の学習講座の企画書をリライトしてくる。
		事後学習	現代的課題の学習とは何か、社会教育事業にする際の特徴を含め説明できるようにする。
第15回	〔第3部〕現代的課題の学習講座の企画・立案④各自が執筆した期末レポートの報告と分析	事前学習	この授業で学んだ内容をふりかえり、各自が執筆した期末レポートを紹介する。
		事後学習	期末レポートを報告し、意見交換した内容をふりかえる。